

再評価実施事業調書

番号	4	事業名	河川事業		路線又は箇所名等		二級河川栗山川水系 栗山川		
事業所管課		河川整備課		事業主体		千葉県			
事業化 年度	昭和 49年度	用地着手 年度	昭和 49年度	工事着手年度 工事終了(認可)年度	昭和49年度 令和8年度	再評価の 理由	再々評価		
費用便益比 B/C	12.2 (18.5)	総費用 (現在価値)	183億円 (41億円)	総便益 (現在価値)	2,230億円 (755億円)	基準年	令和 4年度	供用開始 年度	令和 8年度

※上段：全体事業費 下段( )：残事業費

【事業概要】

(目的)

栗山川中・上流部の河川断面不足による浸水被害と下流部の洪水による被害を防止するため、河川事業により河口から飯土井橋までの17.2km区間の改修を進めている。

(主な実施内容)

河道拡幅、河道掘削、築堤等

【事業の進捗状況】(R4年度末見込み)

	全体計画(億円)	投資事業費(億円)	残事業費(億円)	進捗率(%)
全体	147.7	104.2	43.5	70.5

【社会経済情勢等】

① 流域状況

栗山川は、指定区間延長33.7km、流域面積284.5km<sup>2</sup>の二級河川である。栗山川は、房総導水路および両総用水を兼用しており、利根川から取水された水は栗山川を通じて流域を含む九十九里地域や房総地域へ農業、都市用水として供給、送水されている。

流域の低地部には水田が広がり、市街地はJR総武本線沿線に広がっている。現在、圏央道の整備、成田空港の機能強化による地域のポテンシャル向上に伴い、今後も流域の発展が見込まれることから、これらに対応するため河道改修が鋭意進められている。

近年、河道改修の効果により洪水時の浸水被害が減少傾向にあるものの、水田や低い土地にある家屋及び幹線道路の浸水等の被害が発生しており、さらに流下能力が不足している区間の治水安全度の向上が望まれている。

② 主な水害状況

・平成11年10月(大雨)	浸水戸数 100戸	浸水面積 2,324ha
・平成16年10月(台風22号)	浸水戸数 28戸	浸水面積 209ha
・平成25年10月(台風26号)	浸水戸数 35戸	浸水面積 60ha

[裸書:全体事業、( ):残事業]

③ 投資効果

・浸水戸数	369戸(117戸)	・浸水面積	1,686ha (1,096ha)
-------	------------	-------	-------------------

④ その他

- (関連事業)・住宅市街地基盤整備事業
- ・鉄道橋緊急対策事業

【対応方針(案)】

栗山川流域では、圏央道の延伸等による流域の発展が見込まれ、さらに本治水事業への地元からの要望が大きく、また、全体事業の費用便益(B/C)は12.2(残事業18.5)となり、事業の投資効果も見込まれることから、事業を「継続」し、計画的な事業の推進を図る。

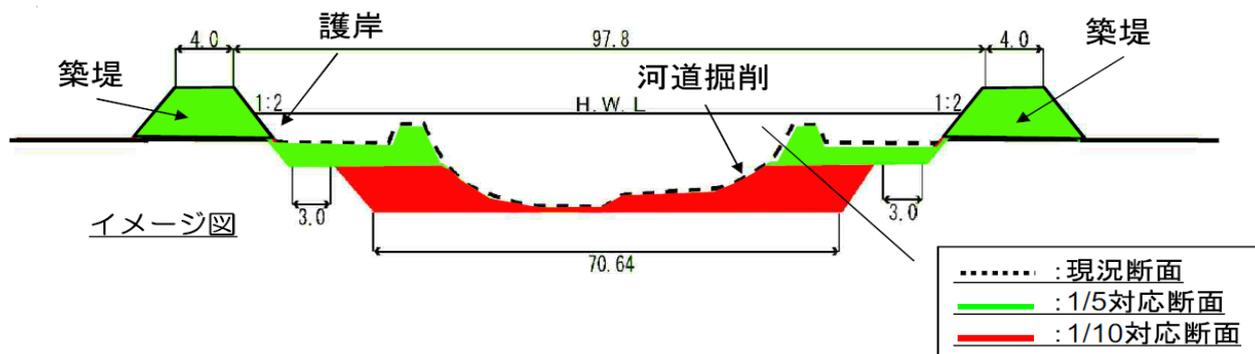
事業概要図

番号	4	事業名	河川事業	路線又は箇所名等	二級河川栗山川水系 栗山川
----	---	-----	------	----------	------------------

計画平面図



●代表横断面



## 再々評価事業に関する調書

番号	4	事業名	河川事業	路線又は 箇所名等	二級河川栗山川水系 栗山川	
事業化年度	昭和 49 年	用地着手年度	昭和 49 年	工事着手年度	昭和 49 年	
<b>【再評価の概要】</b>						
再評価実施年度 (基準年)	平成 29 年度	供用開始年度	令和 8 年度	対応方針	継続	
B/C	1.1 [1.4]	総費用	143 億円 [42 億円]	総便益	154 億円 [61 億円]	
( 裸書 : 全体事業、[ ] : 残事業 )						
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 ○継続することが妥当である。						
再評価時の進捗状況						
	計 画	進捗状況 (H29)				
事業費	147.7 億円	98.7 億円 (66.8%)				
うち用地・補償費	43.4 億円	40.0 億円 (92.2%)				
うち工事費	104.3 億円	58.7 億円 (56.3%)				
<b>【再々評価 (R4 年度) の概要】</b>						
再評価実施年度 (基準年)	令和 4 年度	供用開始年度	令和 8 年度	対応方針	継続	
B/C	12.2 [18.5]	総費用	183 億円 [41 億円]	総便益	2,230 億円 [755 億円]	
( 裸書 : 全体事業、[ ] : 残事業 )						
現在の進捗状況						
	計 画	進捗状況 (R4 末見込み)				
事業費	147.7 億円	104.2 億円 (70.5%)				
うち用地・補償費	43.4 億円	41.5 億円 (95.6%)				
うち工事費等	104.3 億円	62.7 億円 (60.1%)				
再評価後の 経過 及び 処理状況	平成 30 年 3 月 千葉県 県土整備公共事業評価審議会 再々評価 「継続が妥当である」					